

施策名：5-2-2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進

担当部：福祉保健部

検証項目	検証結果					
	検証委員挙手数			市民評価者		
	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない
I 施策の実現に向けた取組について						
課題がしっかりと捉えられているか	0	2	2	3	3	1
取組の方向性は合っているか	0	1	3	3	2	2
取組成果が、施策実現や成果指標の達成に効果があるか	0	3	1	3	2	2
II 施策の有効性について	有効である		有効ではない	有効である		有効ではない
政策目標の達成に向けた施策の有効性	2		2	4		3

1 検証委員からの主な指摘事項

○高血圧の原因についてしっかり説明できることが重要
 ○何が本質的な課題で、何を乗り越えていこうとしているのかが不明。課題への落込みをもう少しチームで展開してもいいのではないかと。

<担当部 対応方針>
 ・本市で高血圧症の人が多くいることについて、現時点で確たる原因は得られていない。
 ・昨年度から取り組んでいる高血圧症予防プログラムは、市内で高血圧症の人の割合が多い地域から順次実施している。
 ・事業実施後は、参加者の生活習慣改善のフォローアップを行っており、そのデータから、本市の傾向や今後の取り組みのエビデンスを取得する。

2 施策改善案など（検証委員、市民評価者が記載したコメントのとりまとめ）

(1) 検証委員

- ・市の高血圧患者数が多いという事実のインパクトが大きい分、施策として取り挙げることは大事ですが、数字の根拠やデータの取り方、そもそも高血圧者数が多い原因の検証することが必要
- ・腎症重症化予防、特に治療中断者への対応は医療機関との連携が重要だと思う。データ毎の分析も必要だと思うが、他のデータなども含め総合的に分析することも必要かと思う。
- ・減塩モニターなどの政策が全体のアウトカムや課題設定が不明確なので、やってるぞ感を出すものになっていてもったいない。戦略がないのであれば、やっても無駄である。

<担当部 対応方針>
 ・減塩モニターについては、参加者に対するフィードバックだけでなく、本市の高血圧症の人の傾向や、より効果のある生活習慣改善のための広報・啓発資料として活用しており、今後もより多くのデータ収集や分析を行うため継続して実施する。
 ・治療中断者へは、本人のアンケートや医療機関受診勧奨の文書とともに、医療機関へ提出してもらった連絡文書も併せて送付している。医療機関受診があった場合は、受診結果を返送いただくことで対象者の身体状況について把握できるようになっている。
 ・治療中断者の内科系の医療機関受診データだけでなく、他科受診データを確認することで、対象者の全体的な身体状態の把握に努めていく。

(2) 市民評価者

- ・高血圧の人をどうにかするかではなく、予防という観点から考える時には、なぜ高血圧の人が多いかという原因を調べ課題とすべき
- ・生活習慣病を予防するには長い期間を要することであり、幼少期からの意識付けが重要と思う。
- ・高血圧について、塩分もだが、他の地域に比べて何が違うのか調査出来ないか。車移動の方も多いので、他の地域に比べて一日の運動量として少ない等も関係していないか。その辺りもわかると、やみくもに運動しようではなく、これ位運動量が少ないからその分は運動しようなどの情報が得られるのではないか。
- ・特定健診、国保での事業が主になっているため、国保ではない市民の状況や予防についてはどのようなになっているか。受診勧奨で数百人が来たことは意味があるかもしれないが、それよりある程度的人数に対してサンプリングでアンケートをとってはどうか。その上で、市の傾向等の情報を市民に伝え、何が必要なのか、どうしたら改善するかの状況を広報することが予防にはつながるのではないか。
- ・幼児からの肥満等も生活習慣病の一因なので、保・幼・小・中等への出前講座などを定期とする枠組み作りなどはどうか。

<担当部 対応方針>

- ・子どもや若い世代においては、高血圧症等の生活習慣病に関する関心が薄く浸透し難いことから、別のアプローチで予防啓発を行っていくことを基本とし、関連する「アクティブシティ推進事業」等で、スポーツ等の普及を通じ、年代に応じた取り組みを進めていく。
- ・子ども向け企画としては、「塩」の研究をテーマとした講座などを開催している。高血圧予防や減塩といったアプローチではなく、「塩」の本来の働きについて、保護者も含め、自然に関心を持ち学べる機会の提供を今後も計画していく。
- ・減塩給食は、学校給食センターと連携し継続して実施していく。
- ・国民健康保険被保険者以外の、より幅広いサンプリングの取得については、新たに導入する健康アプリのアンケート機能の活用を検討したい。